

SECTION 1: 製品及び会社情報

1.1. 製品の名称

単一製品/混合物の区別 : 成形品
製品名 : ゼラスト®気化性防錆フィルム 鉄用

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

鉄製品の防錆用包装材。

1.3. 供給者の会社名称、住所及び電話番号

大洋シーアイエス株式会社
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-37-5 MSB-21 南大塚ビル 1 階
TEL 03-6902-9502 FAX 03-6902-9506
taiyocis@zerustip.com - www.zerustip.com

1.4. 緊急連絡電話番号

: 03-6902-9502 (9:00-17:20, 月曜日～金曜日)

SECTION 2: 危険有害性の要約

2.1. GHS 分類

この製品は、OSHA 1910.1200 (Haz com 2012) および危険物管理法 (HPA) に記載されているカナダの職場危険物情報システム (WHMIS) において成形品とみなされ、危険有害性の分類および表示が免除されています。この製品は、製品の形状により、時間とともにコントロールされた痕跡量の化学成分しか放出しません。従って、使用者に対し、物理的または健康的有害性を引き起こすものではありません。

2.2. GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き : なし

2.3. 他の危険有害性

火炎やスパークによる火花等に接触することにより、発火することがある。

2.4. 重要な兆候及び想定される非常事態の概要

該当するデータなし

SECTION 3: 組成及び成分情報

3.1. 化学物質又は混合物の区別

成形品

3.2. 成分及び含有量

化学名又は一般名	Cas 番号	%	GHS 分類
ポリエチレン	—	90 - 99.8	製品としては分類対象外
添加物*	—	0.2 - 10	

*機密のため、非公開

SECTION 4: 応急措置

4.1. 応急措置

一般的な応急措置 : 気分が悪い場合は、医師の診断を受けること (可能な場合はこのラベルを見せる)。眼に入った場合には、ただちに大量の水で洗い、医師の診断を受けること。意識の無い人の口に決して何も入れないこと。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された服をただちに全て脱ぎ、付着した部分の皮膚を石鹸と水でよく洗うこと。

眼に入った場合 : 痛みや、目がチカチカする場合、目が充血する等の症状が続く場合は医師の診断を受けること。数分間、水で注意深く洗うこと。

ゼラスト®気化性防錆フィルム 鉄用

Safety Data Sheet

飲み込んだ場合 : 水で口の中をすすぐ。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

徴候及び症状 : 詳細な徴候及び症状は、項目 11- 有害性情報に記載する

4.3. 医師に対する特別な注意事項

該当するデータなし

SECTION 5: 火災時の措置

5.1. 消火剤

消火剤 : 水スプレー・粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂

使ってはならない消火剤 : ウォータージェット

5.2. 火災時の措置に関する特有の有害危険性

反応性 : 該当データなし

有害な燃焼生成物 : 該当データなし

5.3. 特有の消火方法

スプレー/霧状の水で容器を冷やす。化学火災の際の注意に従って消火活動を行うこと。

5.4. 消火を行う者の保護

呼吸装置内蔵の保護衣を着用する。

SECTION 6: 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具を着用する。保護具を着用していない人を漏出場所から遠ざける。適切な換気装置を設ける。

6.2. 環境に対する注意事項

内容物が土壌、河川等へ流出し、汚染することを防ぐ。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

粉じんの発生を最低限に抑える。掃くかシャベルで回収し、適切な容器入れること。

6.4. 二次災害の防止策

項目 8-ばく露防止及び保護措置を参照すること。

SECTION 7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 取扱い

技術的対策 : 換気の良いところで使用すること。

衛生対策 : 飲食、喫煙をする前、又は作業場を離れる際には、石鹼で手及び露出した部分を洗うこと。

7.2. 保管

安全な保管条件 : 暗所で保管すること。使用しない時は、密封すること。湿気を避けること。

避けるべき保管条件 : 裸火。直射日光。

混触禁止物質 : 強酸・強塩基。

SECTION 8: ばく露防止及び保護措置

8.1. 許容濃度

該当データなし

8.2. 設備対策

職業ばく露限度を超える場合 ; 適切な換気装置を使用すること。

8.3. 保護具

: 項目 8-ばく露防止及び保護措置を参照すること。

呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合、適切な呼吸器を使用すること。

手の保護具 : 保護手袋を着用すること。

8.4. その他の情報

この製品を使用する際に、飲食喫煙をしないこと。

ゼラスト®気化性防錆フィルム 鉄用

Safety Data Sheet

SECTION 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 固体
形状	: 包材・樹脂製の袋
色	: 黄色
臭い	: 独特の臭いが僅かにある。
臭いの閾値	: 該当データなし。
pH	: 該当データなし。
融点	: >100°C
沸点	: 該当データなし。
引火点	: 該当データなし。
蒸発速度	: 該当データなし。
燃焼性 (固体、気体)	: 該当データなし。
爆発範囲の上限・下限	: 該当データなし。
蒸気圧	: 該当データなし。
蒸気密度	: 該当データなし。
比重 (相対密度)	: 0.9-1.0g/cm ³
溶解度	: 該当データなし。
n-オクタノール/水分配係数	: 該当データなし。
自然発火温度	: >350°C
分解温度	: >240°C
粘度	: 該当データなし。

9.2. その他情報

該当データなし

SECTION 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

該当データなし

10.2. 化学的安定性

確認されていない

10.3. 危険有害反応可能性

確認されていない

10.4. 避けるべき条件

直射日光・極端な高温と低温

10.5. 混触危険物質

強酸・強塩基

10.6. 危険有害な分解生成物

通常の保管においては分解しない。一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物・気体。

SECTION 11: 有害性情報

毒性の影響

急性毒性	: 区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 区分外
呼吸器の感作性又は皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
	分類基準に該当しない。
発がん性	: 区分外

ゼラスト®酸化性防錆フィルム 鉄用

Safety Data Sheet

生殖毒性	: 区分外 分類基準に該当しない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分外
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分外 分類基準に該当しない。
吸引性呼吸器有害性	: 区分外 分類基準に該当しない。
その他	: なし

SECTION 12: 環境影経情報

12.1. 生態毒性

該当データなし。

12.2. 残留性・分解性

ゼラスト®酸化性防錆フィルム 鉄用

残留性・分解性	現在のところ知見なし。
---------	-------------

12.3. 生体蓄積性

ゼラスト®酸化性防錆フィルム 鉄用

生体蓄積性	現在のところ知見なし。
-------	-------------

12.4. 土壌中の移動性

該当データなし。

12.5. 他の有害影響

環境中へ放出しないこと。

SECTION 13: 廃棄上の注意

13.1. 残余廃棄物

国または地方自治体の法令に従い、安全に廃棄すること。

13.2. 汚染容器及び包装

法令に従いリサイクルまたは廃棄すること。

13.3. その他情報

環境中に放出しないこと。

SECTION 14: 輸送上の注意

陸上輸送

危険物に該当しない（消防法）

追加情報

その他情報 : 特になし

船舶安全法

危険物に該当しない

航空法

危険物に該当しない

SECTION 15: 適用法令

15.1. 国内法

消防法	: 危険物に該当しない。指定可燃物。
水質汚濁防止法	: 該当しない。
毒劇物取締法	: 該当しない。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

ゼラスト®気化性防錆フィルム 鉄用

Safety Data Sheet

15.2. 国際法

カナダ

該当する情報なし。

EU-規制

該当する情報なし。

CLP 分類

成形品のため対象外

Directive 67/548/EEC or 1999/45/EC による分類

分類されない。

15.2.2. 国家規制

ドイツ

TRGS615: 非水溶性防錆剤に含有することが出来る亜硝酸の上限値・亜硝酸（1%未満）亜硝酸ナトリウム（1.5%未満）
この製品は上記の規制に対応している。

アメリカ

該当する規制なし

SECTION 16: その他の情報

引用文献	: Classification according to Regulation (EC) No. 1272/2008 [CLP]. Classification according to Directive 67/548/EEC or 1999/45/EC. Classification GHS-UN (SDS-16).
その他	: なし

ここに記載した情報は信頼できるとみなされる出所から編集されたものであり、弊社の知る限りでは執筆の時点で正確なものです。本製品安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本SDSの改訂版を受領した場合は、旧SDSを廃棄下さるようお願いいたします。